

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故事例
2. 体験した事例の名称	消防車両の移動時における、隊員の負傷事故
3. 体験した事例の中心的要素	署訓練場において火災想定訓練終了後、タンク車に水を補給するため、消火栓付近に停車した。2人の誘導者のうち、車両右前部にいた1人が部署位置が不適と指示し、車両左後部にいたもう1人Aは停車したと思い、左後輪に歯止めをかけようとしたところ、運転者が更に前進しようとしたため、Aの左手がタイヤと歯止めに挟まり、左手を負傷したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	1 誘導者及び運転者の意思疎通がなかった、2 車両の死角・影に入っていた、3 全体を見渡す者の不在

【体験した事例の直接的な原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 15 年 7 月 22 日	12 時頃
2. 発生した当時の天候	晴	
3. 発生した活動現場	屋外：歩道上にある消火栓付近	
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）		
7. 事例体験時の活動	その他： []	
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：消火栓から補給するため、車両位置の選定	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[23]歳、 勤続年数[3]年、 現場経験年数[1] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[30]歳、 勤続年数[8]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[25]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防士]、 同様の活動 []、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	車隊長 D 37 歳 勤続 19 年 現場 17 年 消防士長

1.1. 事例発生 の 経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	B, C	消火栓位置に車両を移動する	
経過 2	D	電話対応で離れる	
経過 3	A	資機材撤収後、車両後方につき、歯止めをする	
経過 4	B, C	車両を停車するも位置不適、移動指示する	
経過 5		事故発生	
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。避難・退避がうまくいかなかった。指揮者が適切に指示しなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなけなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

周囲の状況を全員が把握する。

○装備・資機材の対策について

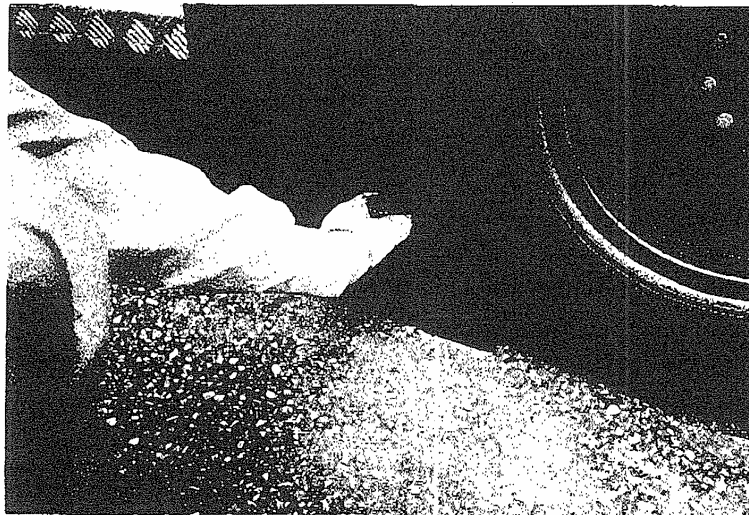
○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

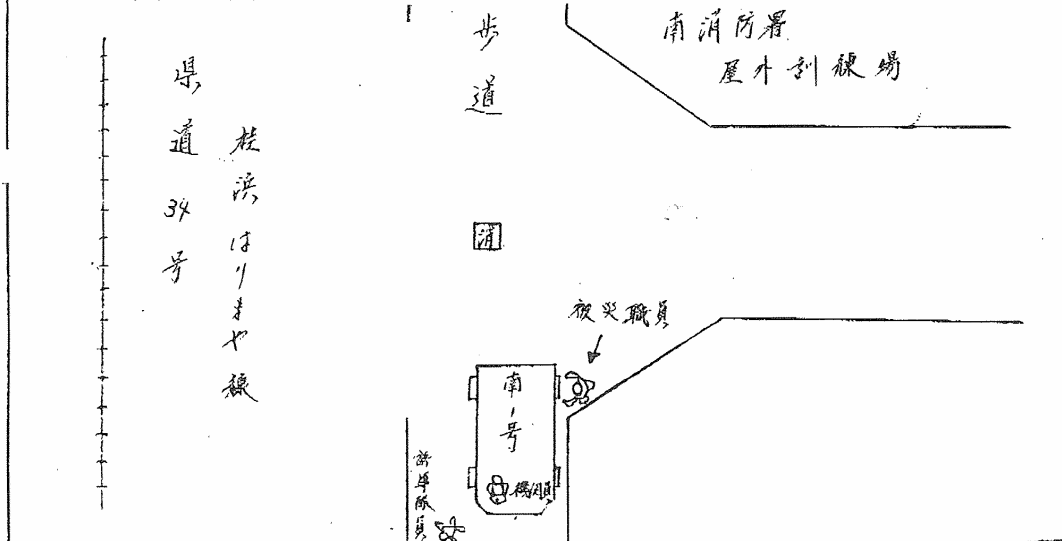
車両に対して、死角となりうる位置に立たない。意思伝達をはっきりする。復唱する。

発生状況及び現場見取図

災害発生状況図（発生の状況をわかりやすく絵、又は写真で示してください。）



現場見取図（発生場所での被災職員、現認者、加害者等、人と物の位置関係を示してください。）



- 注 1 写真を使う場合は発生状況を再現する形で撮ってください。
- 2 経路図が必要なものは、既存の道路、住宅地図等を使用し、極力A4で作成してください。
- 通過経路を赤実線で、発生場所を赤×印で、発生後の予定経路を赤点線で示してください。